

第5章 人々が集う 雪に強い都市基盤づくり

5+1 土地利用

現状と課題

土地は、あらゆる活動の共通の基盤であり、市民生活の向上や産業振興のためには、その高度かつ有効な利用が求められます。

本市は、山形市から北方約40kmの山形県北東部、村山地方の東端に位置し、東西約25km、南北約33kmと372.32km²の広さを有しています。

地勢は、東部及び南北地域は、奥羽山脈に連なる、比較的起伏に富んだ山地または丘陵地からなり、北西部に広がる市街地は尾花沢盆地上に位置しており、台地、河岸段丘の発達が著しく、盆地面積の約60%が河岸段丘地形で占められています。

また、市域西端の市街地を中心に8.7km²が都市計画区域に指定されています。

地目別の土地利用状況を見ると、山林が最も多く、次いで水田となっており、自然的土地利用が大半を占めています。

このため、伝統的基幹産業である農業振興に向け、農地の保全・活用に努めるとともに、国土の保全や水源かん養機能を持つ森林の保全に努めることが求められています。しかし、一方では、便利で快適な市街地環境・商業環境の整備や工業立地基盤の拡充など、地域活力の向上に向けた都市的な土地利用を進めていくことも大きな課題となっています。

今後は、土地利用関連計画の総合調整等を行い、国土利用計画の見直しのもと、これに基づく計画的な土地利用を推進していく必要があります。

土地利用の状況

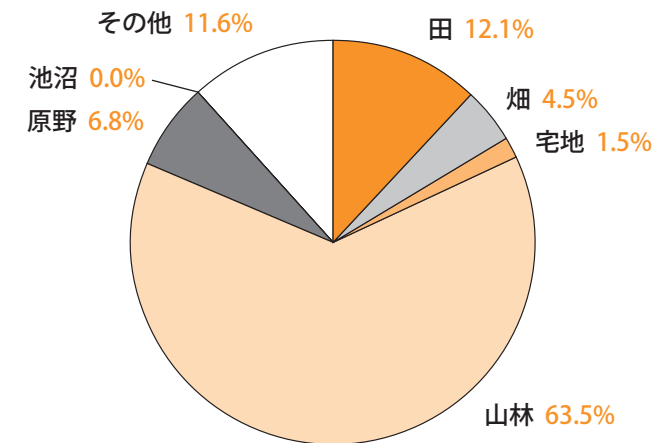
単位:km²

	田	畑	宅地	山林	原野	池沼	その他	総面積
平成18年	44.44	19.51	5.46	236.55	22.70	0.16	43.50	372.32
平成19年	44.53	19.55	5.55	236.58	22.68	0.15	43.28	372.32
平成20年	44.76	19.55	5.62	236.48	22.63	0.15	43.13	372.32
平成21年	45.00	19.52	5.71	236.46	22.42	0.14	43.07	372.32
平成22年	45.04	16.66	5.74	236.45	25.23	0.14	43.06	372.32

※各年1月1日現在

資料:市民税務課

土地利用の状況 (平成22年)



主要施策

1. 土地利用関連計画の見直し・総合調整

- 1 計画的かつ高度な土地利用を推進するため、国土利用計画を見直します。
- 2 都市計画マスタープランや農業振興地域整備計画等の土地利用関連計画の見直し・総合調整を行い、土地利用の明確化を図ります。

2. 適正な土地利用の促進

- 1 土地利用関連法や関連計画、関連制度等の周知と一体的運用による規制・誘導に努め、土地利用区分に沿った適正な土地利用を促進します。

3. 地籍調査の推進と成果の活用

- 1 土地を適正かつ有効に活用するため、地籍調査を計画的に推進します。
- 2 地籍調査の進捗にあわせ、各種土地利用図などの電子化を進め、地理情報システムでの活用を図ります。

市民の役割



●周辺環境と調和した土地利用を図ります。

5-2 市街地整備

現状と課題

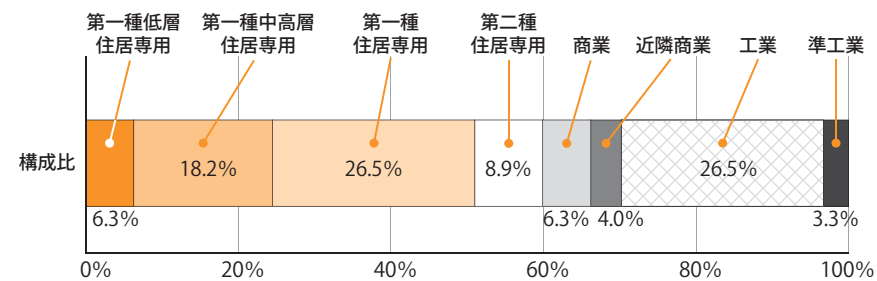
にぎわいのある商業空間、良好な住宅地、便利で安全な道路・交通環境等が整備された市街地は、人々の定住と交流を促進するとともに、市の産業活動を支えるものであり、地域の発展にとって欠かせない重要な基盤です。

本市では、既存市街地を中心に8.7km²が都市計画区域に指定されており、これまで、既存市街地における道路、下水道、流雪溝、公園などの都市基盤整備や中新田地区での宅地の造成など良好な市街地の形成に努めてきました。

しかし、社会・経済情勢の変化に伴い、市街地の空洞化や商店街の衰退、未利用地の増加といった問題が表面化しており、多様な都市機能の維持・強化、快適で安全な居住空間の創出等に向けた計画的な市街地整備が求められています。

このため、都市計画マスタープランに基づき、市民や事業者の積極的な参画・協働を進めながら、土地の有効利用や都市施設の整備を進め、人々が集う魅力ある市街地の再生を進めていく必要があります。

都市計画用途地域の状況 (平成22年)



主要施策

1. 市街地整備体制の確立

- 1 市民や事業者の参画・協働を促進し、行政と一体となった都市づくり体制の確立に努め、快適で活力ある市街地形成の整備方針を検討します。

2. 市街地の再生

- 1 都市計画法および都市計画マスタープランに基づく適正な市街地の形成を誘導します。
- 2 既存市街地における商業・業務機能をはじめとする多様な都市拠点機能の充実を図り、にぎわいのある市街地の形成を図ります。
- 3 安全で歩きやすい歩行空間の創造、景観の保全、防災機能の向上などに留意した整備を総合的に推進します。
- 4 街路樹の適正な維持管理など、良好な街路環境の充実に努めます。
- 5 道路・歩道環境の向上のため、道路管理者、沿道住民及び電気通信事業者等と連携しながら、電線等の地中化を検討します。

3. 新市街地の検討

- 1 都市計画マスタープランに基づき、既存市街地との調和・連携を考慮しながら、快適に暮らせる新市街地構想を検討します。

市民の役割



- 市民が連携し、美しいまちづくりを進めます。
- 地域での景観形成に協力します。

5-3 道路・交通網

現状と課題

道路・交通網は、まちの骨格を形成するとともに、便利で安全な市民生活や活力ある産業活動、地域間の連携・交流を支える重要な基盤です。

本市の道路網は、西部を国道13号が南北方向に縦断し、新庄市及び山形市と結んでいます。また、国道347号が市の中心を東西に横断し宮城県大崎市及び寒河江市方面と結んでいますが、冬期は一部閉鎖となります。現在、東北中央自動車道及び国道13号尾花沢新庄道路の整備が進められており、広域的な交通条件のさらなる向上が見込まれます。

今後は、地域高規格道路の整備進捗にあわせ、国・県道から身近な生活道路など市内道路網の整備を計画的、効率的に進めていく必要があります。

本市の公共交通機関については、鉄道は、JR奥羽本線が市域北西部を南北方向に縦断しており、芦沢駅が整備されています。また、山形新幹線の最寄り停車駅は大石田駅となっています。民間の路線バスが運行され、さらに市営路線バスを運行しています。

これら公共交通は、市民の日常生活、交流活動を支える交通手段として重要な役割を担っていますが、車社会の進展や生活様式の変化、少子化等により利用者は年々減少し、その対応が求められているほか、高齢化が進む中で、高齢者や障がい者が安全に安心して利用できる環境づくりが必要となっています。このため、路線バスの維持・確保など、地域交通の充実と利用促進に向けた取り組みを進めていく必要があります。

道路の状況

単位：m、%

	路線数	実延長	改良済	改良率	舗装済	舗装率
国 道	2	44,646.0	44,646.0	100.0	44,646.0	100.0
県 道	12	82,585.0	71,437.0	86.5	75,989.0	92.0
市道1級	27	41,072.7	40,815.0	99.4	41,072.7	100.0
市道2級	43	55,545.5	43,415.3	78.2	47,147.5	84.9
市道その他	1,016	442,454.0	231,847.9	52.4	193,179.8	43.7
市道合計	1,086	539,072.2	316,078.2	58.6	281,400.0	52.2

※平成22年4月1日現在

資料：建設課

主要施策

1. 地域高規格道路の整備促進

- 1 広域的な交通利便性の向上に向け、東北中央自動車道及び国道13号尾花沢新庄道路等の地域高規格道路の整備を関係機関に働きかけます。

2. 国・県道の整備促進

- 1 国道347号の通年通行に向けた整備、国道13号の4車線化など国道の改良・整備を関係機関に働きかけます。
- 2 県道の改良整備等を関係機関に働きかけます。

3. 市道の整備

- 1 市内各地域を結ぶ幹線市道の整備を推進します。
- 2 集落内や集落間の市道及び生活道路について、未改良道路の改良整備や舗装を計画的、効率的に推進します。
- 3 道路整備にあたっては、災害時への対応やバリアフリー化、沿道環境・景観の保全に配慮した道づくりを進めます。
- 4 市道等の適正な維持管理を図ります。

4. 橋梁の長寿命化

- 1 橋梁について、計画的な点検と補修を行い、長寿命化に努めます。

5. 公共交通の充実

- 1 高齢者や子どもの日常生活に欠かせない交通手段として、また、観光地へのアクセス対策として、関係機関との連携のもと、市営バスをはじめとする路線バスの維持・確保に努めるほか、スクールバスの混乗利用、**デマンド交通**・NPO法人等による輸送活動など、本市の状況に応じた交通システムの導入を検討します。
- 2 沿線自治体等と連携のもと、山形新幹線、JR奥羽本線の運行ダイヤの充実を関係機関に働きかけます。

市民の役割



- 環境に配慮し、バスなどの公共交通機関を利用します。
- 道路へのポイ捨てなどないようにします。
- 清掃活動や緑化等の道路環境美化活動に参加します。

5-4 雪対策

現状と課題

本市では、雪に強いまちづくりに向け、除排雪体制の充実や流雪溝の整備、防雪柵の整備など克雪対策を推進してきました。

また、利雪対策として、簡易雪室による貯蔵実験や市民雪研究会の設立など利雪に関する研究を進めています。

平成15年度から「雪囲大賞」そして「雪対策シンポジウム」と、雪に関する取り組みを紹介してきました。

さらに、親雪活動として、雪まつりや市民スキー大会をはじめ、クールモンキーカーニバルなど市民企画のイベントも開催されています。

今後も、克雪対策の充実、利雪対策、親雪活動の推進を図り、雪国の暮らしを明るくする条例に基づき、市民と行政の協働のもと、雪と共生するまちづくりを進める必要があります。

除雪の状況

単位：km、%

路線	平成 19 年度			平成 20 年度			平成 21 年度		
	実延長	除雪距離	除雪率	実延長	除雪距離	除雪率	実延長	除雪距離	除雪率
国 道	44.6	38.2	85.7	44.6	38.2	85.7	44.6	38.2	85.7
主要地方道	31.1	29.6	95.2	31.1	29.6	95.2	31.8	30.3	95.3
一般県道	50.0	45.0	90.0	50.0	45.0	90.0	50.8	45.8	90.2
市 道	535.3	194.7	36.4	535.3	174.1	32.5	539.1	178.9	33.2

※各年度末現在

資料：建設課

主要施策

1. 除雪対策の推進

- 1 市民と行政が協働した、効率的な除排雪体制の確立を図ります。
- 2 除雪機械の更新とともに除雪基地の整備を図ります。
- 3 冬期間の歩行者の安全確保に向け、歩道除雪を図ります。
- 4 効率的な排雪に向け、運搬排雪の必要のない堆雪場を確保します。
- 5 高齢者世帯の除雪など、地域における協力体制の確立を促進します。
- 6 住宅や敷地における雪処理システムに関する調査・研究を進めます。

2. 流雪溝の整備

- 1 国関係機関と連携のもと、取水対策を進めるとともに、計画的な流雪溝の整備を進めます。
- 2 流雪溝の維持管理体制の向上に向け、流雪溝管理組合などの組織化を推進します。

3. 防雪柵の整備

- 1 冬期間の道路交通安全性の確保のため、幹線道路の必要箇所へ防雪柵を設置します。

4. 利雪対策の推進

- 1 雪山による簡易冷房システム実証試験の成果を踏まえ、関係機関と連携しながら、利雪についての検討を進めます。
- 2 関係機関と連携し、市の産業と連携した雪の利活用を図ります。
- 3 市民雪研究会と連携し、身近な雪の利活用に関する調査や情報の発信を行います。

5. 親雪活動の推進

- 1 雪まつりなど親雪イベントを充実します。
- 2 冬季におけるスポーツ・レクリエーションの充実を図ります。

市民の役割



- 除雪ルールを守ります。
- 互いに協力し、地域ぐるみで秩序ある雪処理を行います。

5-5 情報化

現状と課題

パソコンや携帯電話、これを利用したインターネットの普及により、だれもが様々な情報を手軽にかつ瞬時に受信できる時代が到来し、インターネットを利用して行政サービスの提供等を行う電子自治体の構築が進んでいます。

本市ではこれまで、庁舎内及び出先機関等を結ぶLAN[◆]の整備をはじめ、総合行政ネットワークへの接続、さらには事務の効率化に向けた各種システムの導入やホームページの活用など、情報化に向けた各種の取り組みを進め、着実にその成果を上げてきました。

また、本市では、平成22年度に福原地区、玉野地区、常盤地区全域に光ファイバー網を整備し、その設備を通信事業者に貸し出す公設民営方式により、超高速インターネットサービスの提供を行い、概ね市内全域で光ブロードバンドサービスが利用できる基盤が整いました。

今後、情報化は、市民生活の質的向上や行政経営の効率化、市全体の活性化を支える社会基盤として、これまで以上に重要な役割を担うことが見込まれることから、市全体の情報化をさらに進めていく必要があります。

主要施策

1. 多様な分野における情報サービスの提供

- 1 インターネットの利活用など、防災・防犯分野や学校教育・生涯学習分野、市の特産品・農産物のPRをはじめ、多様な分野における情報サービスを充実します。
- 2 市民や市外の方でもわかりやすい市ホームページの充実を図ります。
- 3 インターネットの特性を生かし、ホームページ同士の連携を進めるとともに、迅速な情報の発信に努めます。

◆【LAN】 | 施設内など限られた範囲で用いられるコンピュータのネットワーク。Local Area Network の略称。

2. 行政内部の情報化の推進

- 1 電子自治体の構築をさらに進めるため、既存の各種のネットワークやシステムの維持・充実に努めるとともに、市民サービスの向上と事務の迅速化・効率化に向けた取り組みを推進し、行政内部の情報化を一層進めます。
- 2 市民が行政情報を入手し、市政に気軽に参画・協働することができるよう、ホームページの内容充実、有効活用を図ります。
- 3 ホームページ上からの電子申請・届出や公共施設の予約等が可能になるよう、整備を図ります。

3. 情報セキュリティ対策の推進

- 1 各種システムの運用や各種情報サービスの提供を安全かつ円滑に行い、情報セキュリティ対策の徹底を図ります。

4. 情報化を支える人材の育成

- 1 市民及び職員等を対象とした情報化に関する啓発・教育を充実し、情報活用能力を持つ人材の育成を図ります。

市民の役割



● 情報サービス利用について、正しい知識の習得とモラルの向上を図ります。

5-6 住宅・宅地

現状と課題

良好な住宅・住環境の確保は、人々の定住・移住を促進する重要な要素であり、まちづくりの基本となるものです。

本市は、人口減少が急速に進んでおり、住宅地の形成をはじめ、定住に向けた施策の展開が求められています。

本市の市営住宅については、平成21年度末現在、市営住宅 184戸と特定公共賃貸住宅6戸を管理しています。

また、市民ニーズに即した市営住宅の整備・管理を計画的に進めてきたとともに、花笠ニュータウンの造成、宅地・住宅取得のための支援制度の充実を図ってきました。

しかし、本市の市営住宅の一部は老朽化が進んでいるほか、質的にも十分とはいえない状況にあり、老朽化した住宅の建て替えや質の向上が課題となっています。

このため、福祉的視点や若者の定住促進といった視点を取り入れながら、老朽化した市営住宅の建て替え・改善等を計画的に進めていくとともに、花笠ニュータウンの分譲推進や、宅地・住宅取得のための支援策の充実を図る必要があります。

公営住宅の状況

	市営住宅	特定公共賃貸住宅	県営住宅
戸数	184	6	16
団地数	8	1	1

※平成22年4月1日現在

資料：建設課

◆【特定公共賃貸住宅】 | 収入が一定の範囲内において、優良な住宅を必要としている中堅所得者のために供給する公共住宅。

主要施策

1. 良好な住宅地の形成

- 1 居住系市街地の計画的整備や民間開発の適切な誘導等により、良好な環境の新たな住宅地の形成を進めます。
- 2 土地開発公社と連携し、花笠ニュータウンの宅地分譲を推進します。

2. 市営住宅の整備・管理

- 1 若者の定住促進、高齢者や障がい者、子育て家庭への配慮といった視点に立ち、老朽化した住宅の整備と市営住宅制度の運用見直しを検討します。

3. 定住促進に向けた支援の充実

- 1 若者定住に向け、定住促進条例を見直し、宅地・住宅取得のための支援制度を充実します。
- 2 克雪住宅の整備に対する支援を充実します。
- 3 空き家の有効利用と定住促進による地域の活性化を図るため、空き家情報の登録制度を充実します。
- 4 国・県の住宅リフォーム助成事業を活用できるよう、支援制度を創設します。

市民の役割



● 居住まわりの生活環境の維持に努めます。

5-7 公園・緑地・水辺

現状と課題

水と緑の空間は、良好な環境・景観の形成、レクリエーションや憩いの場の提供、防災機能の向上など、人々の生活を様々な形で支えています。

本市には、本格的なスポーツ施設等を備えた尾花沢運動公園をはじめ、森林公園「ブナ共生の森」、河川公園「丹生川ふれあい広場」、緑地公園「えほんの杜」など特色ある公園のほか、身近な遊び場として児童公園等が整備されています。

しかし、安全確保の観点から、老朽化が進む施設等の整備・改良が求められているほか、公園の機能を一層有効に発揮させるため、市民との協働による維持管理体制の充実に努める必要があります。

このため、既存公園・緑地の改良及び適正管理を進めていく必要があります。

都市公園等の整備状況の比較

単位：㎡/人

	1人当たりの面積
尾花沢市	25.81
山形県	18.0
全国	9.6

※H21.3.31現在

資料：都市公園等の整備の現況調査
国土交通省

主要施策

1. 公園の整備・充実

- 1 既存の公園・緑地について、安全性・快適性の確保と利用率の向上に向け、バリアフリー化を進めるとともに、老朽化した遊具などを更新します。
- 2 公園の機能を一層有効に発揮させるため、維持管理体制を充実します。
- 3 行政と住民が一体となって維持管理体制づくりに努めます。

2. 親水空間の整備

- 1 丹生川ふれあい広場など河川公園の適正な維持管理を図ります。
- 2 河川整備にあわせた親水空間の整備を促進します。
- 3 徳良湖など、市民が親しむ水環境の水質保全に努めます。



市民の役割



- 身近な公園・緑地については、市民による維持・管理を進めます。
- 緑化活動・花づくり運動の取り組みなど、市民活動の輪を一層広めます。
- 事業者は、工場や商業施設などの緑化などを進めます。